Pit用オプション
自立スタンド EVPX-ST 施工説明書/取扱説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書/取扱説明書は
所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
施工は必ず有資格者（電気工事士※）が行ってください。※工事内容や規模により、この限りではありません。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

・この製品は、下記Pitシリーズ（以下”充電器”と表記）の専用オプションです。
まずはじめに充電器の施工説明書・取扱説明書をご確認ください。

EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2
EVP-1GTA　EVP-1GTVA

・この製品は、充電器を前面・背面に各1台取付けることができます。

もくじ

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

⚠危険	回避しないと、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
⚠ 気をつけていただく内容です。
⃠ してはいけない内容です。
❗ 実行しなければならない内容です。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工および保守・点検上のご注意

⚠危険

	感電防止のため、施工作業・保守・点検に入る前には必ず給電元ブレーカを OFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。

⚠警告

	コンクリート基礎と製品下部との間に、異物を挟まないように注意してください。	アースせよ	感電防止および車両との信号授受のため、必ず接地工事（D種）をしてください。
	可燃性ガス、腐食性ガス、じんあい、引火物の近くに設置しないでください。感電、火災、故障の原因となります。		車両が通るところに設置する場合は、必ず防護柵や車止めなどを設置して、車両と衝突しないようにしてください。
	高圧洗浄は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。		配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。感電・発熱・火災のおそれがあります。

⚠注意

- ゆすったり、ぶら下がったり、もたれたりしないでください。破損し、事故につながるおそれがあります。
- 階段、非常口などの付近で避難の支障となる場所に設置しないでください。
- コンクリート基礎と製品下部との間にコーキング処理をしないでください。
- 著しく振動のある場所に設置をしないでください。部品の脱落や破損の原因となります。
- 有機溶剤、油、薬品等のかかる場所または充満した場所では使用しないでください。
- 製品の加工・改造を行わないでください。けがや故障の原因になります。
- たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。製品を損傷するおそれがあります。
- 貼付してある銘板シール（製造年月、製造番号などの記載シール）を剥がしたり汚したりしないでください。

- 安全性、操作性、保守、点検のために製品の周囲に下図のスペースを空けて設置してください。

メンテナンス、充電作業に必要なスペースを空けてください。

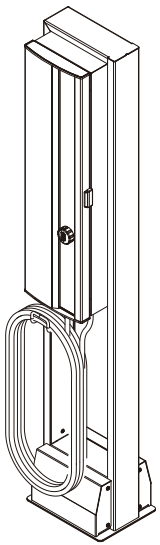
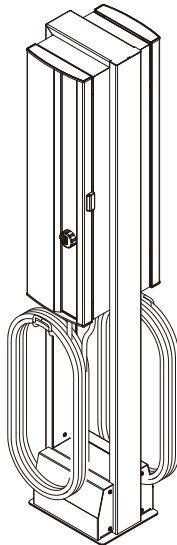
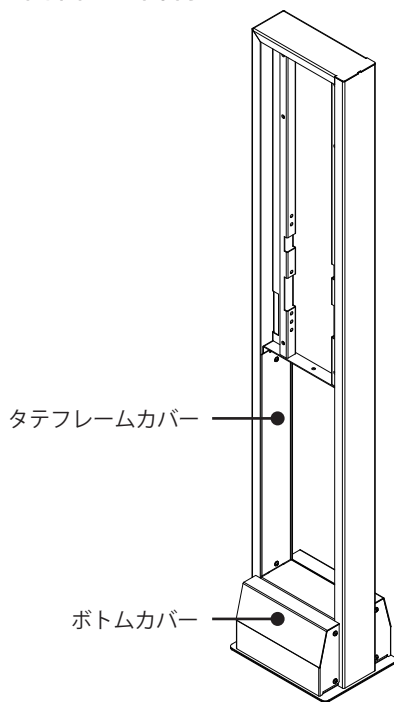
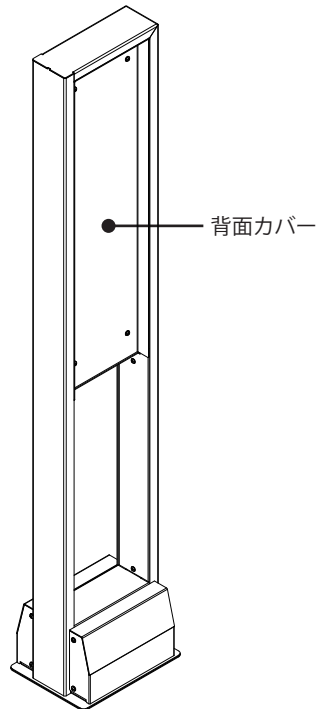
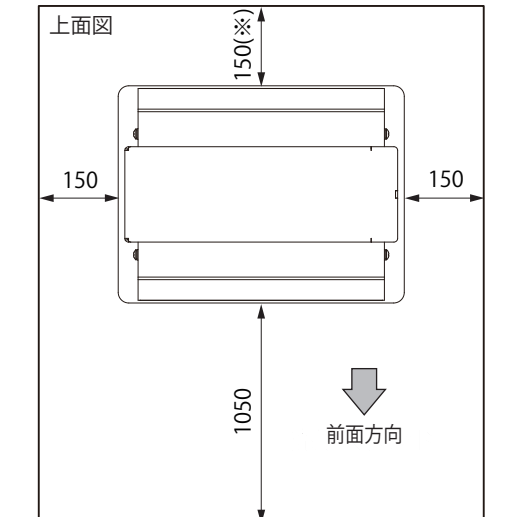
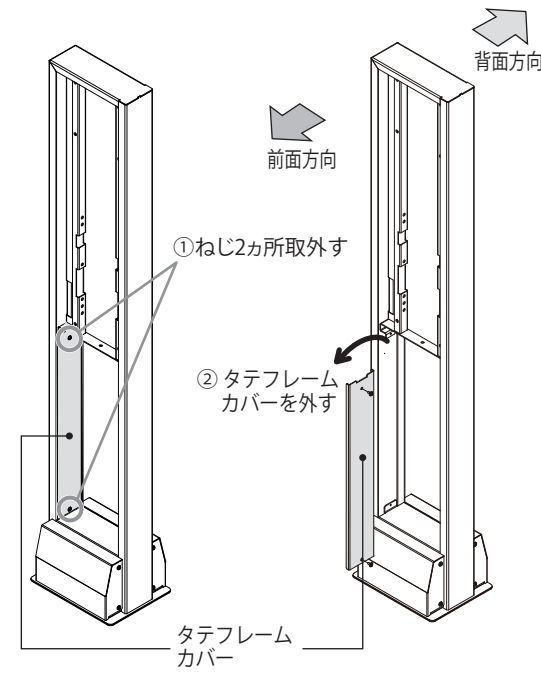
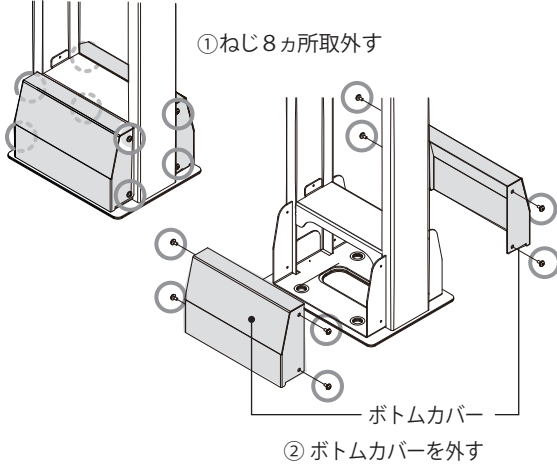
（※）
ご注意 充電器を２台取付ける場合およびその可能性がある場合は、前面方向と同じスペース(1050mm) を確保してください。

- 施工は、説明書の手順通りに行ってください。けがや故障の原因になります。
- 十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。設置後の傾きは下面部で１°以内としてください。強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、製品が転倒または落下し、故障やけがの原因になります。
- 基礎の施設は十分な強度のある地盤にて行ってください。強度が十分でない場合、製品が転倒し故障やけがの原因になります。
- 電源線、可とう管等は電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。
- 雨や直射日光が当たりにくく風通しがよい場所に設置してください。
- 植栽などの土がかからないようにしてください。
- ぶつかったり、つまずいたり、通行などの妨げにならないよう周囲の状況に十分配慮して設置してください。
- 部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、規定の締付トルクを守ってください。
- 電源線を地中から製品に引込む際は可とう管等を使用し、適切に敷設してください。
- 可とう管等の端部は、水が浸入するおそれがあります。適切な防水処理を行ってください。
- 配線口は配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。
- 電源線は、張力のかからないように余裕を持って配線してください。
- 配線工事は「電気設備の技術基準」及び「内線規程」に基づいて施工してください。
- 地中埋設工事の配線は、300mm 以上埋設し必ずケーブルと保護管をご使用ください。また重量物により圧力がかかる地中埋設工事はＪＩＳＣ３６５３（電力ケーブルの地中埋設の施工方法）によって施工してください。
- 動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。

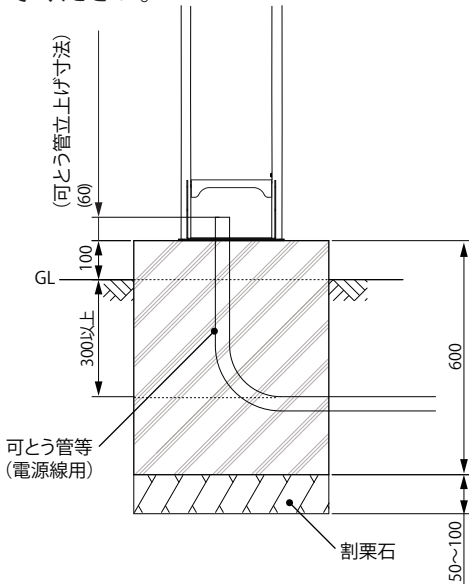
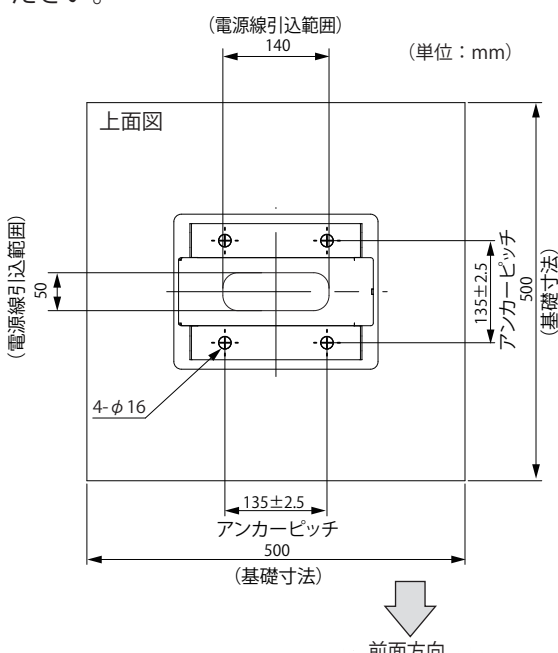
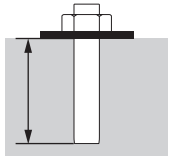
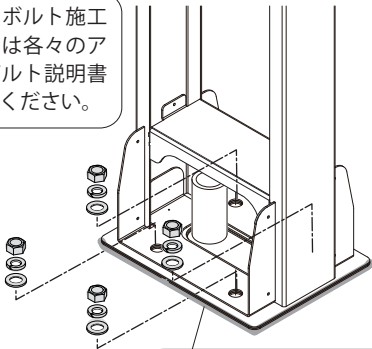
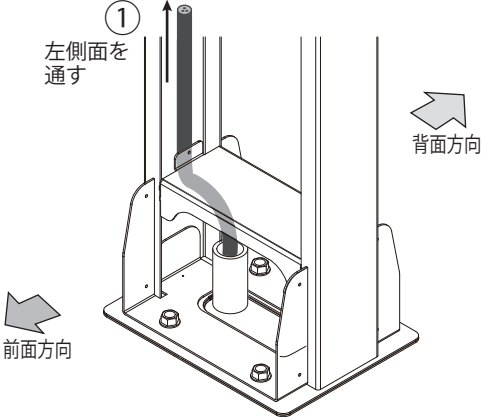
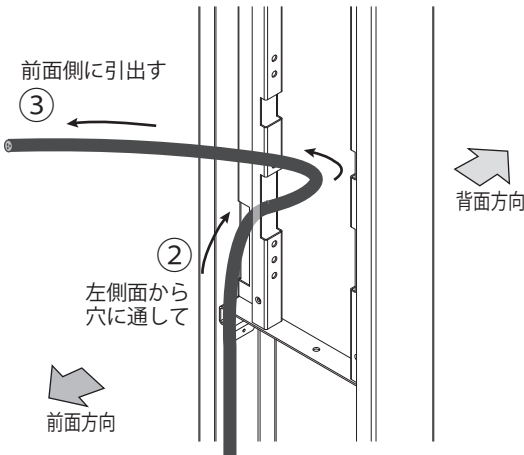
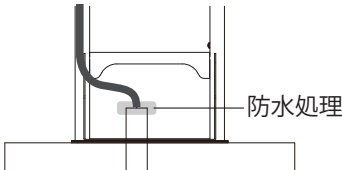
ご注意 充電器を２台取付ける可能性がある場合は、あらかじめ２台分の先行配管が必要です。

■はじめに

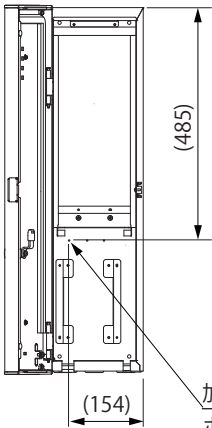
● 本製品は、壁掛けタイプの充電器を自立設置するためのスタンドです。

● スタンド１台につき、充電器を最大２台取付けることができます。（前後に各１台取付可能）

■各部の名称

■付属品

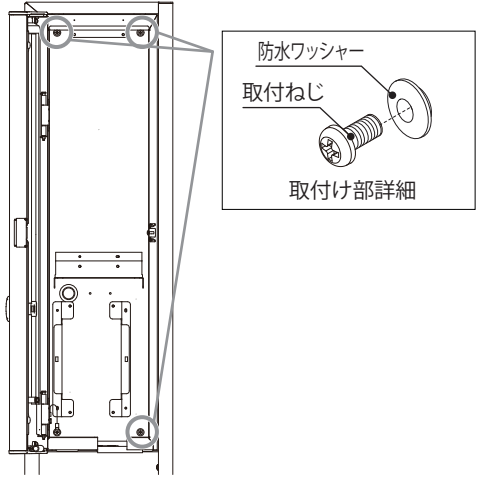
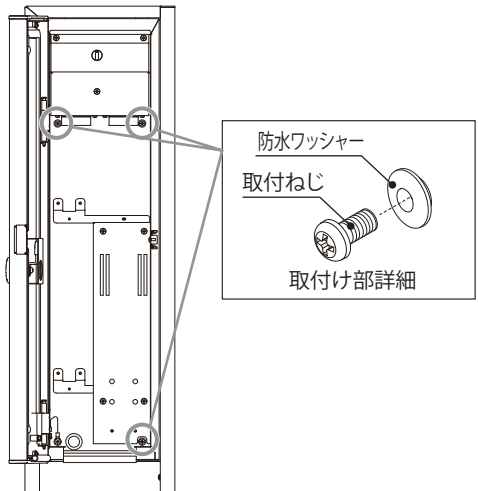
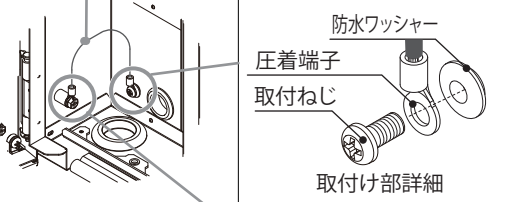
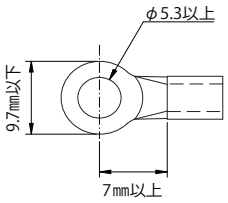
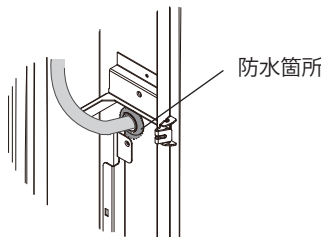
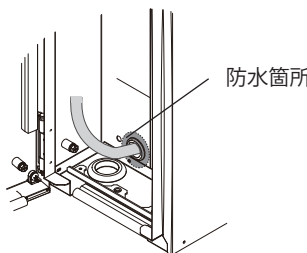
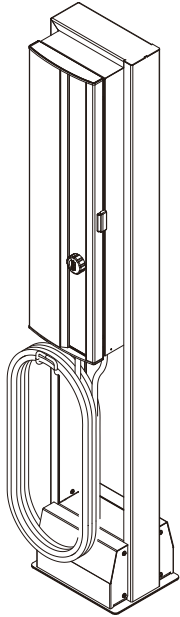
名称	施工 / 取扱説明書 (本紙)	取付ねじ Ｍ５×１０ＳＵＳ	防水ワッシャー （取付ねじ用）ＳＵＳ	ゴムブッシュ
数量	１部	８個	８個	２個

■施工前確認事項

施工前に下記内容を確認してください。

手順	作　業	説　明	注意事項
1	設置スペースの確認	設置時および保守・点検時に作業が行えるよう下図のスペースを確保してください。各部の寸法は「■仕様」(P.18)を参照してください。 （単位：mm） 上面図 150(※) 150 150 1050 前面方向 メンテナンス、充電作業に必要なスペースを空けてください。	⚠注意 安全性、操作性、保守、点検のために周囲に左図のスペースを空けて設置してください。 （※） ご注意　充電器を２台取付ける場合およびその可能性がある場合は、前面方向と同じスペース (1050mm) を確保してください。
2	タテフレームカバーの取外し	左側のタテフレームカバーを取外してください。（側面２ヵ所のねじを外す） 背面方向 前面方向 ①ねじ2ヵ所取外す ② タテフレームカバーを外す タテフレームカバー	ご注意　充電器を２台取付ける場合は、同じように右側のタテフレームカバーも取外してください。

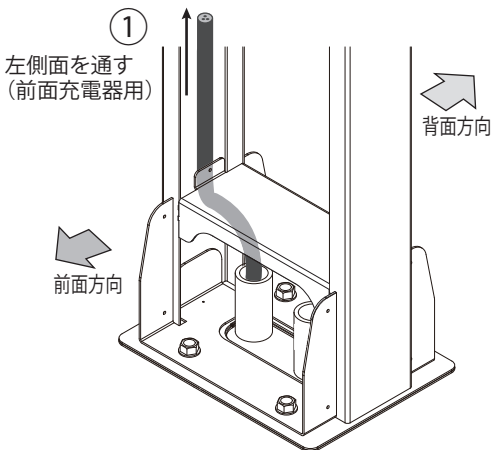
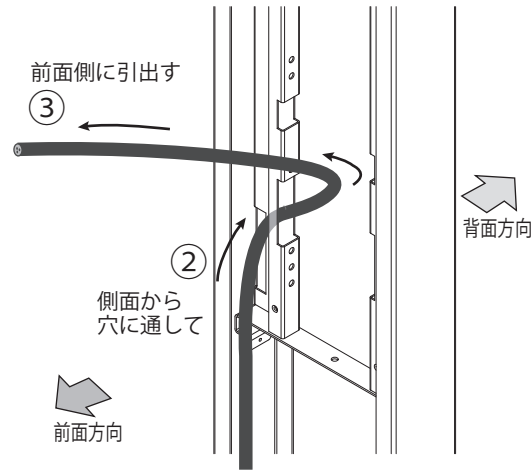
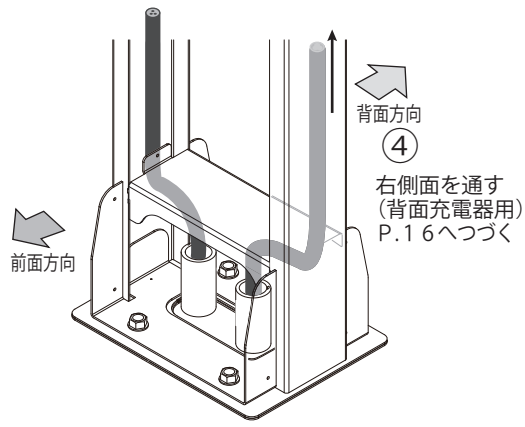
手順	作　業	説　明	注意事項
3	ボトムカバーの取外し	ボトムカバーを取外してください。 （左右側面８ヵ所のねじを外す） 	

■据付け・先行配管

施工手順を説明します。

手順	作　業	説　明	注意事項
1	基礎工事・ 可とう管の準備	①基礎工事 掘削、先行配管を行い基礎工事を行ってください。コンクリート打設後、強度に必要な養生期間を確保してください。 ②可とう管の準備 充電器に配線するための可とう管を敷設してください。 (可とう管立上げ寸法) (60) 100 GL 300以上 600 可とう管等 (電源線用) 割栗石 50~100 充電器を2台取付ける場合は、 P.14 を参照してください。	⚠注意 十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。強度が十分でない場合、製品が転倒または落下し、故障やけがの原因になります。 電源線、可とう管等は電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。 ご注意　充電器を2台取付ける可能性がある場合は、あらかじめ2台分の先行配管が必要です。 ・将来の EV 容量負荷の増加を見越して、30A 分岐回路化を想定した電線の使用を推奨します。 【推奨】 EVP-1GT　EVP-1GTV EVP-1GTA　EVP-1GTVA EVP-1R1　EVP-1R2 ・単線φ2.6 ㎜（3 芯） ・より線 5.5 ㎜²（3 芯） EVP-1RR ・単線φ2.6 ㎜（4 芯） ・より線 5.5 ㎜²（4 芯）
2	アンカーボルト の設置	ボルト径 M12 のアンカーボルト（市販品）を4ヵ所設置し、また、地中からの配線を可とう管等を使用して引込めるよう適切に行ってください。 (電源線引込範囲) 140 (単位：mm) 上面図 (電源線引込範囲) 50 135±2.5 アンカーピッチ 500 (基礎寸法) 4-φ16 135±2.5 アンカーピッチ 500 (基礎寸法) 前面方向	⚠注意 アンカーボルトの埋込み深さは 60mm 以上としてください。(一般的なスラブ床の場合) 60 ㎜以上

手順	作　業	説　明	注意事項
3	自立スタンドの取付け	製品をアンカーボルトに据付け、M12 ナット、ワッシャー（市販品）で固定してください。 中央部付近の電源線引込範囲をご確認ください。 アンカーボルト施工については各々のアンカーボルト説明書に従ってください。 コーキング処理禁止	**⚠警告** コンクリート基礎と製品下部との間に、異物を挟まないように注意してください。 **⚠注意** コンクリート基礎と製品下部との間にコーキング処理をしないでください。 十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。設置後の傾きは下面部で 1° 以内としてください。強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、製品が転倒または落下し、故障やけがの原因になります。
4	電源線の引込み	電源線（※）を製品の底面から左側面を通るようにして引出してください。可とう管等の端部に適切な防水処理をしてください。 ① 左側面を通す 背面方向 前面方向 前面側に引出す ③ ② 左側面から穴に通して 背面方向 前面方向 防水処理	**⚠危険** 感電防止のため、必ず給電元ブレーカを OFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。 **⚠注意** 電源線を地中から引込む際は可とう管等を使用し、適切に敷設してください。 可とう管等の端部は、水が浸入するおそれがあります。適切な防水処理を行ってください。 （※）電源線の引出し長さ EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1GTA　EVP-1GTVA 底面から 1300mm 以上引出す EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2 底面から 1700mm 以上引出す

■充電器の取付け

充電器の取付手順を説明します。

手順	作　業	説　明	注意事項
1	充電器の準備	ご注意 充電器に付属の施工説明書と充電器を用意してください。充電器の施工説明書をよくお読みの上、それに従い施工を行ってください。 「■施工前確認事項：電線回路の確認」を行ってください。 EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1GTA　EVP-1GTVA 「■施工手順：内機ユニットの取外し」まで行ってください。 EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2 「■施工手順：配線保護プレート・コントロールボックスホルダーの取外し」まで行ってください。	
2	ボデーの加工	EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1GTA　EVP-1GTVA 下記寸法を参考にして、ボデー背面側より加工してください。（穴径φ24） （単位：mm） (485) (154) 加工位置 ボデー背面側より 加工すること （凹形状になっています）	⚠注意 加工の際に発生した切り屑は完全に除去してください。加工した端面のバリを処理してください。端面をタッチアップペイントで補正してください。 <推奨> 弊社製タッチアップペイント 品番：ＢＰ８１－０７ＦＡ

手順	作　業	説　明	注意事項
		ＥＶＰ-1ＲＲ　ＥＶＰ-1Ｒ１　ＥＶＰ-1Ｒ２ 下記寸法を参考にして、ボデー背面側より加工してください。（穴径φ24）	⚠注意 加工の際に発生した切り屑は完全に除去してください。加工した端面のバリを処理してください。端面をタッチアップペイントで補正してください。 ＜推奨＞ 弊社製タッチアップペイント 品番：ＢＰ８１－０７ＦＡ
3	電源ＯＦＦの確認（給電元）	給電元ブレーカが OFF になっていること、電源線に電圧がないことを確認してください。	⚠危険 感電防止のため、必ず給電元ブレーカを OFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。
4	ゴムブッシュの取付け	自立スタンドに付属されているゴムブッシュの薄膜に切込みを入れてください。充電器ボデーに取付けてください。 ＥＶＰ-1ＧＴ　ＥＶＰ-1ＧＴＶ　ＥＶＰ-1ＧＴＡ　ＥＶＰ-1ＧＴＶＡ ゴムブッシュの向きに注意して充電器のボデー背面穴に取付けてください。	

手順	作　業	説　明	注意事項
		EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2 ゴムブッシュの向きに注意して充電器のボデー背面穴に取付けてください。 内　外 ゴムブッシュ **向きに注意** 狭い方を内側にしてください ボデー	
5	充電器ボデーの取付け	電源線を充電器背面より通してください。 EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1GTA　EVP-1GTVA EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2	

手順	作　業	説　明	注意事項
		充電器を自立スタンドに取付けます。 上２ヵ所、右下１ヵ所を自立スタンド付属の取付ねじと防水ワッシャーで取付けてください。	

注意

ねじ締付トルクは以下の通りとしてください。

取付ねじ　　　　：2.5~2.9N・m
充電器側六角ボルト：2.5~2.9N・m

警告

配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。感電・発熱・火災のおそれがあります。

左下１ヵ所は、アース線（※）を挟み込み、取付ねじと防水ワッシャーで取付けてください。

（※）下図に適合する丸型圧着端子を使用してください。

もう片方を充電器ボデーに取付けてください。

警告

アースせよ

感電防止および車両との信号授受のため、必ず接地工事（D種）をしてください。

お知らせ　左記アース線を取付けることにより、充電器と自立スタンドの導通ができます。

手順	作　業	説　明	注意事項
6	充電器の施工	ご注意 充電器に付属の施工説明書をよくお読みの上、それに従い施工を行ってください。 EVP-1GT　EVP-1GTV EVP-1GTA　EVP-1GTVA 「■施工手順：内機ユニットの取付け」に従い内機ユニットを取付けてください。 ▼ 「■施工手順 ●壁面から電源線を配線する：電源線の接続」から充電器の施工を行い、「充電コネクタの収納」まで進めてください。 適切な防水処理（※）を行ってください。 防水箇所 EVP-1RR　EVP-1R1 EVP-1R2 「■施工手順：シールドケースの取外し」から充電器の施工を行い、「検査」まで進めてください。 適切な防水処理（※）を行ってください。 防水箇所	（※） 電源線引込み部に変成シリコンシールやシールパテなどで適切な防水処理を行ってください。
7	カバーの取付け	手順3「ボトムカバーの取外し」（P.5） 手順2「タテフレームカバーの取外し」（P.4） の逆の順序で取付けてください。	⚠注意 ねじ締付トルクは以下の通りとしてください。 ボトムカバー取付ねじ：1.47~2.45 N・m タテフレームカバー取付ねじ：1.47~2.45 N・m

手順	作　業	説　明	注意事項
8	作業終了	以上で作業終了です。 施工 / 取扱説明書（本紙）および使用しなかった付属品は、施主様へお渡しください。 （代表例）	

●自立スタンドに充電器を２台取付ける場合

手順	作　業	説　明	注意事項
1	可とう管の準備	各充電器に配線するため、可とう管を２本敷設してください。	**⚠注意** 電源線、可とう管等は電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。
2	アンカーボルトの設置	P.6「アンカーボルトの設置」を参照し、適切に施工してください。	
3	自立スタンドの取付け	製品をアンカーボルトに据付け、M12 ナット、ワッシャー（市販品）で固定してください。 中央部付近の電源線引込範囲をご確認ください。 アンカーボルト施工については各々のアンカーボルト説明書に従ってください。 コーキング処理禁止	**⚠警告** コンクリート基礎と製品下部との間に、異物を挟まないように注意してください。 **⚠注意** コンクリート基礎と製品下部との間にコーキング処理をしないでください。 十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。設置後の傾きは下面部で１°以内としてください。強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、製品が転倒または落下し、故障やけがの原因になります。
4	背面カバーの取外し	背面カバーを取外してください。 （背面４ヵ所のねじを外す）	

手順	作　業	説　明	注意事項
5	電源線の引込み	電源線（※）を製品の底面から引出してください。可とう管等の端部に適切な防水処理をしてください。 ①左側面を通す（前面充電器用）　背面方向　前面方向 前面側に引出す ③　背面方向　② 側面から穴に通して　前面方向 背面方向　④ 右側面を通す（背面充電器用） P.１６へつづく　前面方向	**⚠危険** 感電防止のため、必ず給電元ブレーカを OFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。 **⚠注意** 電源線を地中から引込む際は可とう管等を使用し、適切に敷設してください。 （※）電源線の引出し長さ ＥＶＰ-1ＧＴ　ＥＶＰ-1ＧＴＶ　ＥＶＰ-1ＧＴＡ　ＥＶＰ-1ＧＴＶＡ 底面から 1300mm 以上引出す ＥＶＰ-1ＲＲ　ＥＶＰ-1Ｒ１　ＥＶＰ-1Ｒ２ 底面から 1700mm 以上引出す

手順	作　業	説　明	注意事項

このあとは、■充電器の取付け（P.8）から行ってください。

（※）電源線の引出し長さ

EVP-1GT　EVP-1GTV　EVP-1GTA　EVP-1GTVA
底面から 1300mm 以上引出す

EVP-1RR　EVP-1R1　EVP-1R2
底面から 1700mm 以上引出す

⚠注意

可とう管等の端部は、水が浸入するおそれがあります。適切な防水処理を行ってください。

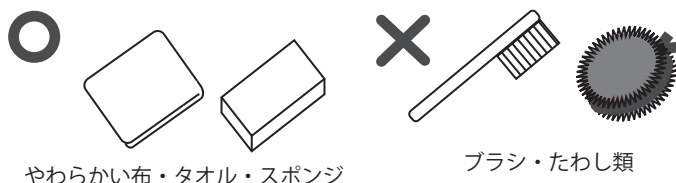
■お手入れのしかた

⚠警告			
	高圧洗浄は絶対にしないでください。 感電や故障の原因になります。		**本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ず給電元ブレーカをOFFにして、電源線に電圧がないことを確認してから行ってください。** 感電や故障の原因になります。

⚠注意			
	たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。 製品を損傷するおそれがあります。		**動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。**

汚れた場合は水でよくしぼったやわらかいタオル・布・スポンジなどで拭いてください。

やわらかい布・タオル・スポンジ

ブラシ・たわし類

■定期点検

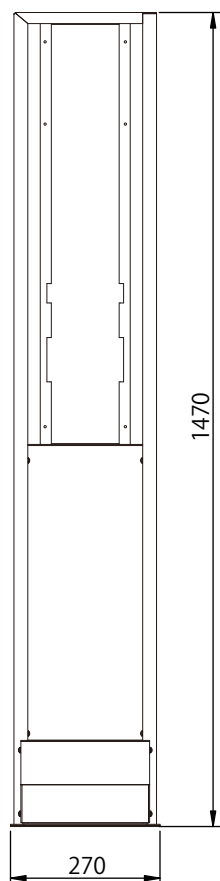
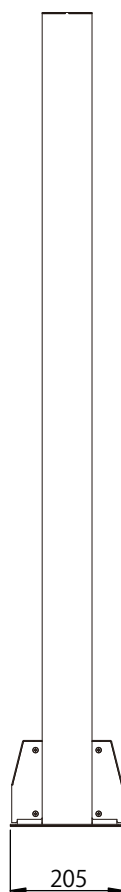
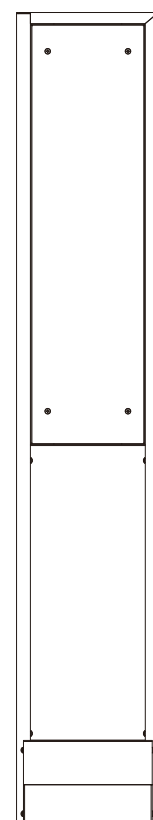
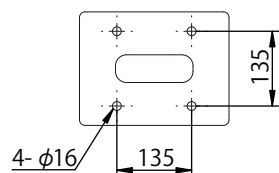
安全にご使用いただくため、定期点検を行うことが必要です。
下記の点検を実施してください。

定期点検（１か月に１回）

●破損している部分はないか。
●製品が傾いてないか。
●ガタつきおよび取付ねじに緩みはないか。
・充電器
・タテフレームカバー
・ボトムカバー
・背面カバー

点検の結果、不具合をみつけたり、修理・交換が必要な場合は施工業者または「お問い合わせ先」までご連絡ください。

■仕様

項　目	仕　様
外 形 寸 法 （W×H×D）	２７０mm×１４７０mm×２０５mm
質　　　量	約１７.５ｋｇ
材　　　質	ステンレス
設 置 環 境	屋内および屋外

■お問い合わせ先

・Ｐｉｔ用オプション 自立スタンド ＥＶＰＸ-ＳＴ についてご不明な点がありましたら
【弊社 お客様相談室】へお問い合わせください。

施工業者名		
TEL	施工年月日	年　月　日

この説明書に用いた図は代表例であり、お手元の商品と一致しない場合があります。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
この説明書の内容は 2015 年 7 月現在のものです。

B200240921

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL （0561）64-0152
http://www.nito.co.jp